

**原料費調整制度に基づく都市ガス料金単価の調整について**  
( 2014年7月 検針分 )

2014年2月～2014年4月のLNG及びLPGの貿易統計値が発表されました。  
原料費調整制度に基づき、基準単位料金を調整させていただきます。

2014年7月 検針分の単位料金は2014年6月 検針分 に比べて、1m<sup>3</sup>(45MJ)当り  
▲ 0.3294 円(消費税込)、標準家庭(26m<sup>3</sup>)では月額 ▲ 9 円の調整を行うこととなりました。

※当社は石油石炭税の税率の改定に伴い、平成26年7月1日を実施とする料金(基準単位料金)の改定を主な内容とする供給約款および選択約款の変更を九州経済産業局長へ届出いたしました。

下表の2014年7月の単価はこの料金改定に伴って新たに設定された基準単位料金に基づく調整を行っております。(2014年6月分単価は料金改定前単価)

●一般ガス供給約款料金における調整単位料金 (消費税込)

	単位	2014年6月 (A)	2014年7月 (B)	(B)-(A)
A料金表 (0m <sup>3</sup> ～24m <sup>3</sup> )	円/m <sup>3</sup>	260.2628	259.9334	-0.3294
B料金表 (24m <sup>3</sup> を超える)	円/m <sup>3</sup>	202.2693	201.9399	-0.3294

●平均原料価格

	単位	2014年1月 ～ 2014年3月	2014年2月 ～ 2014年4月	基準平均原料価格
LNG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	89,060	88,840	
LPG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	105,090	98,930	
平均原料価格	円/トン	90,220	89,700	62,680

平均原料価格=LNG平均価格×0.9533+LPG平均価格×0.0506 (10円未満端数四捨五入)

※平均原料価格が100,290円以上となった場合は100,290円

原料価格変動額 = 平均原料価格 - 基準平均原料価格 (平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき)  
= 89,700 - 62,680 = 27,000 円/トン  
(100円未満端数切捨て)

●調整単位料金の算定

平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき

調整単位料金 = 基準単位料金 + 0.085×原料価格変動額÷100円×(1+消費税率)

	単位	(A) 基準単位料金	(B) 2014年7月 検針分 調整単位料金	調整額 (B)-(A)
A料金表 (0m <sup>3</sup> ～24m <sup>3</sup> )	円/m <sup>3</sup>	235.1474	259.9334	24.7860
B料金表 (24m <sup>3</sup> を超える)	円/m <sup>3</sup>	177.1539	201.9399	24.7860

(小数点第5位以下の端数切捨て)

●標準家庭のご使用例(1ヶ月分)

1ヶ月分使用量(m <sup>3</sup> )	(A) 2014年6月	(B) 2014年7月	影響額 (B)-(A)
26	7,390	7,381	-9

計算式・・・基本料金(税込)+調整単位料金(税込)×使用量 (1円未満の端数は切り捨て)